

# SSP6

## SSP6 使用時のご注意と設置方法について

株式会社 HSS Japan

---

### 1. SSP6 の構成

- ・ SSP6 マルチトランスデューサー
- ・ Rev-Loc (SSP6 マルチトランスデューサー専用取り付けプレート)

### 2. SSP6 マルチトランスデューサーの使用上の注意点

- \*SSP6 を分解・修理・加工・改造はしないで下さい。
- \*SSP6 より伸びているケーブルの根元を曲げたり、強い圧力を加えたりするとケーブルが断線をします。お取扱にご注意下さい。
- \*SSP6 を設置する際は、必ず付属設置用プレートと壁、ガラス、天井面を接着するようにして下さい。スピーカー本体を上から何かで押さえつけて設置されますと、音が出にくくなると共に、故障の原因となりますのでご注意ください。
- \*SSP6 を接着する物質の素材によって音質・音量に変化がございます。音質・音量の調整に、イコライザー、ミキサーアンプのご使用を推奨致します。
- \*プレートが接着する場所が湾曲している場所、ゆがみ、凹凸がある場所には SSP6 を設置しないで下さい。
- \*SSP6 をご使用される前に音声入力レベルにご注意下さい。急に大出力で稼動すると SSP6 が破損致します。(メーカー推奨瞬間最大入力 200W 推奨アンプ出力 150W/チャンネル 6Ω)
- \*SSP6 を高音・多湿な場所には設置・保管しないで下さい。

### 3. SSP6 マルチトランスデューサーの設置について

#### ◇適した素材、適さない素材、推奨される設置場所

SSP6 は私たちの日常を取り囲む様々なもの、例えば、机、本棚のような家具、壁、そして床などをハイファイスピーカーに変身させることができるスピーカーです。設置に適した素材としてはドライウォールパネル（石膏ボード）、ガラス面、木材製品、MDF、ファイバーグラス、鉄製シートなどです。それらの材質からできている壁、フローリングの床、家具などが理想的な設置場所と言えるでしょう。SSP6 をそれらのものに設置することで、簡単に高音質な音をお楽しみいただけます。

適さない素材は、レンガ、石材、コンクリートです。それらの素材からできているものに接着しても良い音質を発生させることが出来ません。

#### ◇取り付け方法

SSP6 を素材面に接着する前に、簡易的な音質の事前テストを行って下さい。Rev-Loc を

## SSP6

### SSP6 使用時のご注意と設置方法について

株式会社 HSS Japan

マルチトランスデューサーに接続し（本体底面の中心にあるネジ穴を Rev-Loc のポールネジに差し込んで回す）、設置したい場所に手で押し当て、材質が適当か、接着面に凹みやゆがみがないチェックして、もっとも好ましい場所（音質が良くなる場所）に SSP6 を設置しましょう。

- ① 事前テストで接続したマルチトランスデューサーと Rev-Loc をもう一度外します。
- ② Rev-Loc のみ設置したい箇所に接着します。（接着方法の詳細については後述）Rev-Loc の底面全面に強力な接着剤をつけ、設置面にしっかりと押し付けることで設置個所に接着させます。

- ③ Rev-Loc が接着面にしっかりと接着したことを確認してから、SSP6 マルチトランスデューサーを接続します。その際、本体の青とグレーの部分を掴まず、黒いベースの部分を掴んで回すようにしてください。（右写真）しっかりと動かなくなるまで回し切って接続することが重要なポイントです。

以上で取り付けは完了です。

\*但し、壁の内部に壁面完成後に取付ける等、手が届きにくい場所に取り付ける場合は、SSP6 を Rev-Roc に取付けてから壁面内側等に接着させます。

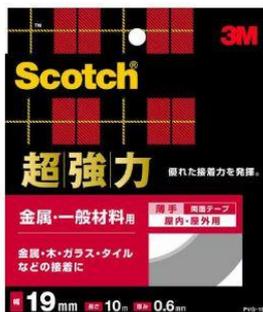


#### ◇接着方法について：

設置素材に適した接着剤を利用してください。接着材の選定については下記をご参考ください。

#### ①：ガラス面等の滑らかな（穴の空いていない）面に接着する場合

使用接着剤：UHB（超強力両面テープ）



設置位置：ウィンドウのフレームから約 15～20 cm 離れたところに接着して下さい。



a) Rev-Loc の接着面を拭いて、きれいに乾いていること

## SSP6

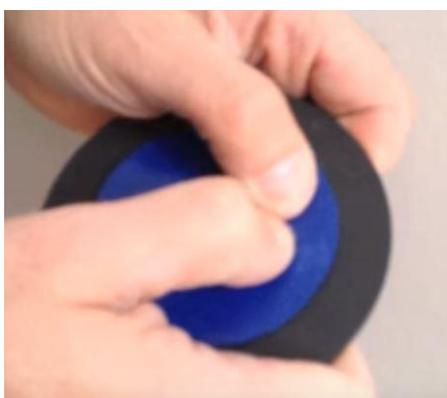
### SSP6 使用時のご注意と設置方法について

株式会社 HSS Japan

---

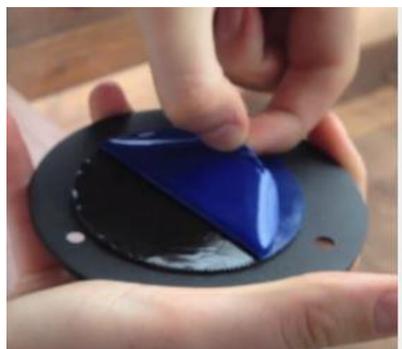
を確認してから Rev-Loc の真ん中に UHB テープを貼ります。

b) テープの内側から外側に向けて押し広げるように伸ばし、テープの下にたまっている空気を押し出します。



つけた両面テープの反対側(ガラスの保護フィルムを剥きます。

c) Rev-Loc の中心にあるポールネジに SSP6 を差し込んで回します。SSP6 と Rev-Loc が最終的に締め込まれた状態の時に、**スピーカーケーブルの出口の位置を確認し、鉛筆などで印しをつけた後、SSP6 を Rev-Loc から外して下さい。**



d) Rev-Loc に貼り面などへの接着側)



e) Rev-Loc を接着するガラス面等の表面に強く押し付けます。その際に先ほどつけた、スピーカーケーブルの印が真下に来るように注意して押し付けて下さい。



## SSP6

### SSP6 使用時のご注意と設置方法について

株式会社 HSS Japan

---

e) 30分ほどすると両面テープがしっかりとつきますので、その後に SSP6 を Rev-Loc の中心のポールネジに回し込んでください。

### ②ドライウォールに接着する場合

使用接着剤：強力接着剤（シアノクリレート系）

ジェル状のものではなく液体系の強力接着剤（シアノクリレート系）を信頼できるブランドのものから選んでください。



a) 手を入れて作業するのが難しい壁の内側、天井裏等に設置をする時には最初に SSP6 を Rev-Loc に取り付けます。



b) Rev-Loc の裏側全面に接着剤をイラストのように線の間が 6 mm 以上空かないようにびっしりとジグザグ状に塗ります。



b) その後すぐに接着場所に Rev-Loc の底を強く押し付

## SSP6

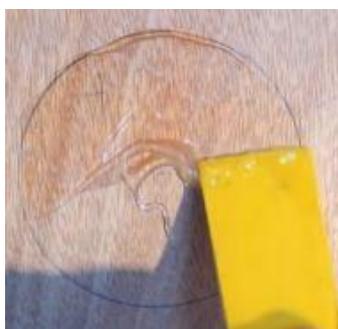
### SSP6 使用時のご注意と設置方法について

株式会社 HSS Japan

けます。その際に接着箇所には埃や汚れが付着していないかをよく確認して下さい。接着剤が効き始めるまで、30 秒程度押し付けたままにして下さい。もし空間に余裕があれば、最初に Rev-Loc を接着し、その後に SSP6 を取付けて下さい。

#### ④ 木材やファイバーグラス等のラフな表面に接着する場合

使用接着剤：5 分硬化エポキシ接着剤



a) 接着箇所の埃をきれいにふきとり、乾燥した状態にします。表面のラフな部分を紙やすり等で削り、ラフな部分ができるべくスムーズになるようにして下さい。Rev-Loc の裏面全体と接着箇所の表面の両方に接着剤を塗り、接着剤の層をつくるようにします。



b) Rev-Loc をしっかりと接着箇所に押し付け、余分な接着剤を伸ばすように Rev-Loc を左右に僅かに回して、Rev-Loc からみ出た接着剤をよく拭き取ります。



c) そのまま Rev-Loc を押し付けた状態で、しばらくテープ留にして接着剤を乾燥させます。接着剤が乾燥したら SSP6 を Rev-Loc に取付けます。